

あまる・たりない問題 ④（答えの吟味）

答えが問題に合うかを確認する

なまえ _____

ひづけ _____

解けたら、答えが問題に合うかを確認しよう。合わないときは理由を書こう。

- ① 子どもにクッキーを配ります。1人に3枚ずつ配ると8枚あまり、1人に5枚ずつ配ると3枚たりません。子どもの人数と、クッキーの枚数を求めなさい。

最初に x、y が何かを書く → 表・式2本・解く・確かめる を書く

x の値 (_____) y の値 (_____) 問題に合う? 合う・合わない (○をつける)
合わないときは理由・合うときは答え (_____)

- ② 部員にゼリーを配ります。1人に7個ずつ配ると4個あまり、1人に9個ずつ配ると12個たりません。部員の人数と、ゼリーの個数を求めなさい。

最初に x、y が何かを書く → 表・式2本・解く・確かめる を書く

x の値 (_____) y の値 (_____) 問題に合う? 合う・合わない (○をつける)
合わないときは理由・合うときは答え (_____)

- ③ 生徒にペンを配ります。1人に6本ずつ配ると10本あまり、1人に4本ずつ配ると2本たりません。生徒の人数と、ペンの本数を求めなさい。

最初に x、y が何かを書く → 表・式2本・解く・確かめる を書く

x の値 (_____) y の値 (_____) 問題に合う? 合う・合わない (○をつける)
合わないときは理由・合うときは答え (_____)



あまる・たりない問題 ④ (答えの吟味) 【こたえ】

なまえ _____

こたえ・考え方・先生へ

ひづけ _____

① 子どもの人数をx人、クッキーの数をy枚とする

配り方	1人分	配った数	全部の数y
3枚ずつ	3枚	3x枚	3x+8枚
5枚ずつ	5枚	5x枚	5x-3枚

$$\begin{aligned} \text{式 } ① & y=3x+8 \\ ② & y=5x-3 \\ ① & -3x+y=8 \\ ② & -5x+y=-3 \\ ①-② & 2x=11 \\ x & =5.5 \\ y & =24.5 \end{aligned}$$

確かめ クッキー(3枚ずつ) $3 \times 5.5 + 8 = 24.5$ クッキー(5枚ずつ) $5 \times 5.5 - 3 = 24.5$

問題に合う? 合わない 人数が小数(5.5人)になるので、配り方がない

答え この条件では子どもが5.5人になり、あてはまらない

考え方 全部の数yは同じ。3枚ずつは $3x+8$ 、5枚ずつは $5x-3$ と表せる。

② 部員の人数をx人、ゼリーの数をy個とする

配り方	1人分	配った数	全部の数y
7個ずつ	7個	7x個	7x+4個
9個ずつ	9個	9x個	9x-12個

$$\begin{aligned} \text{式 } ① & y=7x+4 \\ ② & y=9x-12 \\ ① & -7x+y=4 \\ ② & -9x+y=-12 \\ ①-② & 2x=16 \\ x & =8 \\ y & =60 \end{aligned}$$

確かめ ゼリー(7個ずつ) $7 \times 8 + 4 = 60$ ゼリー(9個ずつ) $9 \times 8 - 12 = 60$

問題に合う? 合う(答えが問題の場面にあてはまる)

答え 部員8人、ゼリー60個 (x=8、y=60)

考え方 全部の数yは同じ。7個ずつは $7x+4$ 、9個ずつは $9x-12$ と表せる。

③ 生徒の人数をx人、ペンの数をy本とする

配り方	1人分	配った数	全部の数y
6本ずつ	6本	6x本	6x+10本
4本ずつ	4本	4x本	4x-2本

$$\begin{aligned} \text{式 } ① & y=6x+10 \\ ② & y=4x-2 \\ ① & -6x+y=10 \\ ② & -4x+y=-2 \\ ②-① & 2x=-12 \\ x & =-6 \\ y & =-26 \end{aligned}$$

確かめ ペン(6本ずつ) $6 \times (-6) + 10 = -26$ ペン(4本ずつ) $4 \times (-6) - 2 = -26$

問題に合う? 合わない 人数が負の数(-6人)になるので、あてはまらない

答え この条件では生徒が-6人になり、あてはまらない

考え方 全部の数yは同じ。6本ずつは $6x+10$ 、4本ずつは $4x-2$ と表せる。

先生へ

- ・つまずきやすい所: 解は出ても、人数が5.5人や-6人になる問題を「場面に合わない」と気づかず、そのまま答えにしてしまう。
- ・答えの欄に「合う」だけを書いていたら、単位のことばを添えて、その値が問題の場面であり得るか言わせる。
- ・答え面は加減法の解き方。代入法でも、等しい関係を2本の式にできていれば正しい。
- ・印刷: A4・白黒でよい(xとyは文字で見分けられる)。答え面は、生徒に配る前に外す。